



小学生国内派遣事業（北海道泊村） 鯉御殿前にて

生涯学習だより

ふれあい

いかた

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

9月のテーマ “お年寄りや目上の人を
大切にしよう”

（実践方法）

- お年寄りを囲んで、若い頃の苦労話や昔話に耳を傾け、お年寄りへの理解と敬愛を深めよう。

平成20年
9月1日発行

No.41

9月号

子ども親善大使 北海道泊村へ

町内小学6年生30名が貴重な体験！

7月30日(水)から8月1日(金)までの3日間、町内小学生(6年生)と随行員4名の34名で北海道泊村方面への派遣研修事業を実施いたしました。

この事業は、21世紀を担う青少年の健全育成を促進するための事業で、姉妹町村である北海道泊村へ子どもたちを派遣し、文化、人的交流を図るとともに、様々な体験学習等を通して幅広い見識を持ち行動力のある人に育てることを目的に教育委員会が実施しているもので、今回で10回目になります。

はじめは、緊張していた表情もINSTOトラクターの指示に従い、班の仲間と声を出し合いながらも協力することで慣れてくるにつれ黄色い声が飛び交い、楽しみなが自然を満喫しました。

泊村での交流会では、きなはいや伊方まつりで交流した泊村小学校6年生に迎えられ歓迎式典が行われました。その後は一緒に、「泊村栽培漁業センター」でのウニの養殖や「鯨御殿」とまりの資料館の見学をし、更に「泊村アイスセンター」でスケート体験をしました。初めてスケートをする子が多く、なかなかうまく滑れませんでした。泊村の子どもたちに指導を受けながら、楽しそうに仲良く滑っていました。

また、昼食には、用意していただいたジンギスカンを全員で美味しくいただくことができました。泊村の子どもたちとはすっかり打ち解けて、楽しく貴重な体験を共有することができました。研修生たちは、その後も北海道の大自然を体感しながら、多くの友だちをつくり、夏休みの楽しい思い出のページをまた一つ増やすことができました。



泊村アイスセンタースケート体験

役場前を朝5時に出発し、羽田空港で乗継ぎというハードスケジュールでしたが、初日にラフティング(ゴムボートによる川下り)を体験しました。尻別川のラフティングコース、全長8kmを約1時間30分かけて最後まで漕ぎ続けました。

また、昼食には、用意していただいたジンギスカンを全員で美味しくいただくことができました。



ラフティング体験



泊村栽培漁業センター見学



乳搾り体験



ソーセージ作り体験

お盆の恒例行事

第58回 三崎夏季体育大会

三崎地域の年中行事、三崎夏季体育大会が地域の方々お盆の帰省客を交え8月14日に盛大に開催されました。今年で58回目を迎えるこの大会は、毎年お盆の14日に開催され地元では盆大会と呼ばれ親しまれています。地域の子どもから大人そして帰省客からも参加しソフトボールやレクバレーそしてソフトテニスを楽しみました。また、開会式では、先般全国大会に出場した三崎スポーツ少年団の報告会や通算4度目の全国大会出場となる少林寺拳法の溜池透奥太さんの壮行会も行われました。



選手宣誓をする阿部 蓮くん



子どもから大人まで参加のソフトボール



熱戦が繰り広げられた、レクバレー

試合は、地区対抗で行われソフトボールに11チームとレクバレーに7チームの参加がありました。ソフトボールは南部チームが2年連続の優勝、レクバレーは中村チームが優勝しました。ソフトテニスは



ソフト優勝の南部チーム



レクバレー優勝の中村チーム

「いつでも、誰でも、気軽に体験」をテーマに体験コーナーとして行われ、帰省客を交えわきあいあいとテニスを楽しんでいました。
参加者や応援に来た皆さんは、歴史ある地域の年中行事でスポーツを楽しむとともに、お盆ならではの懐かしい顔との再会を楽しんでいました。そして天国から帰ってきたご先祖様の見守る中、地域の絆を深めていました。

平成20年度 柳井サマーカップバスケットボール大会 伊方小スポーツ少年団出場

平成20年7月19日(土)・20日(日)山口県柳井市体育館を主会場に、柳井サマーカップバスケットボール大会が開催されました。

この大会は、山口県柳井市バスケットボール協会が主催したもので、愛媛県代表として伊方小スポーツ少年団が推薦され出場しました。

大会では他県の代表チームとも堂々と渡り合い、伊方小パワーを存分に発揮しました。

試合結果は次のとおりです。

【一部 女子予選リーグ】

1回戦 伊方 31 × 36 厚狭(山口県)

2回戦 伊方 42 × 15 麻里布(山口県)

※1勝1敗で一部女子2位リーグへ進出

【一部 女子2位リーグ】

1回戦 伊方 30 × 57 大竹(広島県)

2回戦 伊方 41 × 41 丸亀南(香川県)

※1敗1分



出場選手名簿

監督	田原久嗣
コーチ	清水美智子
1	中田美代子
2	阿部 歩
3	橋本のぞみ
4	政木みなみ
5	宇都宮 楓
6	清家真理奈
7	大瀧 由華
8	福田 梨紗
9	久保 真希
10	山下 悠菜
11	前田 綾
12	渡邊 由香
13	細川紗也加
14	川上 真穂

※ 参加申込書記入順

公民館だより

第1回 自転車安全指導

伊方町補導会伊方支部

平成20年7月11日(金)伊方町補導会伊方支部において、第1回自転車安全指導を飛田建設前・大峠トンネル前の2班に分かれて実施しました。

この自転車安全指導は毎年実施しており、小学生、中学生、高校生を対象に、支部会員、兵頭サイクルさんの協力のもと、ブレーキ・反射板・夜間ライト

の点検をしました。今までの継続の成果で、反射板はほぼ全員付いていました。また、今回は警察より改正道路交通法のチラシなどを手渡ししました。

今後もこの事業を継続して実施することにより、子ども達の安全を見守っていききたいと思っています。



飛田建設前



大峠トンネル前

『パッチワーク・調理にチャレンジ』

町見公民館

向集会所事業の一つとして実施されている高齢者講座の第2回と第3回がこの程行われました。第2回は

畑山千沙子先生(伊方町九町)を講師に迎え、パッチワークに挑戦しました。先ず布生地の色や柄選びから始まり、繊細で根気のある作業に皆さん真剣に取り組んでいました。完成までにはかなりの日数をかけ、すばらしい作品が完成しました。完成時の達成感は一とおだった事でしょう。完成したクッションやバッグは11月に行われる町見公民館

まつりの作品展に出品される予定です。

第3回は、バランスよく食べようと題し中央保健センターの高石洋子栄養士さんのご指導のもと調理実習を行いました。皆さんさすがに手慣れたもので手際よく段取りよく「コミュニケーションをとり合いながら行っていました。

試食会ではメニューについての意見交換や「我が家のメニューにも加えたいなどの感想もあり学習と親睦を更に深めることができました。

又、今後の学習計画についても話し合い決定されました。皆さんお疲れさまでした。

【バランス・グ〜メニュー】

- ☆ 魚の揚げ漬け
- ☆ ジャガイモの和風サラダ
- ☆ ジャガイモのだんご汁
- ☆ フルーツパフェ

※ 詳しくは町見公民館へ



集中 シ〜ン



完成で〜す



メニュー説明

各種教室作品展紹介

瀬戸公民館

瀬戸公民館では、各種教室の受講生による作品を定期的に、瀬戸町民センターにて出展しております。

6月17日～7月28日までの期間におきましては、瀬戸地域以外の町民の方にも作品を見てもらええる様、生涯学習センター4F企画展示室に作品を展示させて頂き

ました。
生涯学習センターでの展示では、毛筆6展・ちぎりの絵16展・陶芸40展程の受講生の作品を展示しました。毛筆は古典の臨書に基づいた創作作品を中心に、ちぎりは楕を描いた作品、陶芸は大人と子どもの作品を展示しました。



どの作品も受講生が一生懸命作成したもので、作品を目にした方々は十分に楽しんでもらえたのではないかと思います。
瀬戸公民館では、今回展示した作品以外にも様々な教室で受講生がいろいろな作品づくりに挑戦しています。

これからも、受講生が創った立派な作品を一人でも多くの方に見てもらえる機会を提供していきたいと考えております。
また、作品を見て自分も挑戦したいと感じる方がいましたら、お気軽に瀬戸町民センター（TEL 57-2111）までお問合せください。

夏祭りを彩る浴衣美人！

浴衣の着付け教室

三崎公民館

日本の夏の風物詩といえば花火や夏祭りがありますが、それらを彩る浴衣美人も日本の夏の美しい風景の一つではないでしょうか。今全国的にも浴衣の魅力が見直され20代の女性を中心にブームとなっているようです。三崎公民館でもそんな日本の伝統美である浴衣を美しく着こなし、地域の夏祭りを華やかに彩ろうと昨年から浴衣の着付け教室を開催しています。今年も7月25日に三崎公民館で開催し、25人の三崎撫子たちがキヨ美容室の濱本喜代子先生から綺麗な浴衣の着こなし方を学びました。

今年は、小さなお子さんの参加もあり、濱本先生は着付けの全体の流れを教えるとともに、レースや蝶の飾りをあしらったり帯に花飾りをアレンジしたり、最近はやっている洋服感覚の気軽な着こなし方も教えていました。参加者たちは、納得がいくまで先生に繰り返し教えてもらっていました。また、今度は本格的な着物の着付けも学びたいといった声もあがりとても好評でした。
今年も、はんなりと浴衣を着こなし三崎撫子たちが、地域の夏祭りを艶やかに彩ってくれることでしょう。



今年の夏祭りは、浴衣でGO！



帯の締め方、どっちかな！



学校通信



保育実習

瀬戸中学校

本校では、3年生の家庭科の授業で1日保育実習を行っています。地域のひととの関わりや保育について学習した後、布製のおもちゃを製作し、自分の出身園で実習体験をさせていただきました。今年も去る7月2日に、瀬戸地区の4つの保育所にお世話になりました。生徒の感想を紹介します。

○最初は園児への話し方などが難しいと思っただけれど、遊んでいるうちに園児と同じ目線で接することができた。けがをさせないように気をつけた。

○園児たちは朝から元気だった。同じことを何回も繰り返して遊ぶので大変だった。先生方は時には優しく、時には理解できるように諭し、子どもの話をよく聞いていた。いろいろなことが学べた。

○園児はみんな生き生きしていた。一緒に遊ぼうと声を掛けられたのが嬉しかった。先生方を見て、自分の将来の夢は保育士だと改めて思った。幼児と触れ合った生徒たちの表情はとても和やかでした。今後も地域の人々との関わりを大切にしたい活動の機会を持ちたいと思います。



やっています 英語活動

伊方小学校

伊方小学校では、本年度、文部科学省の英語活動等国際理解活動推進事業の指定を受け、西宇和郡の拠点校として英語活動に取り組んでいます。5、6年生を対象に年間35時間を使い、英語に慣れ親しみ積極的にコミュニケーションをとろうとする態度を育てることをねらいとしています。そして、小学校の段階で、英語が好きな子ども、誰でも進んで話そうとする子どもを育てていこうとしています。

授業は学級担任が中心となり、英語指導助手や国際交流員の先生

地域の方に協力いただき、体験的に楽しく英語を学べるよう努めています。具体的には、英語を使ったゲームをしたり、生活の中で英語を使う必要がある場面等を教材にして、授業を進めています。子どもたちは、この活動に喜んで取り組み、普段は発表が少ない子ども、生き生きと表現したりしています。少しずつ、英語の楽しさや必要性を感じてきていると思います。



人権講演会

三机小学校

本校では、今年度、7月9日に「人権講演会」を実施しました。これは、PTAの人権教育部の活動の一環として開催されたものです。

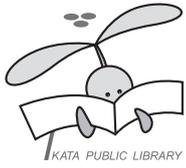
講師は、青年海外協力隊としてアフリカのタンザニアに行かれたことがある藤野由起子先生で、そのときの経験を基に「アフリカ生活泣き笑いの730日から見えたもの」という演題で、4年生以上の児童と保護者を対象に話をさせていただきました。

講演で藤野先生は、タンザニアでの人々の生活の様子を話され、その生活の中で日本人ということ

やアジア人ということ、現地の人から受けた差別やつらい体験について話をされました。そういったつらい日々の中で、自分の支えとなつたもの、それは「自身が子どもころから受けてきた「人権学習」にあったそうです。学んで積み重ねてきたものが自分の中にあるからこそ、差別に負けず生きていくことができた、ということでした。

今回の講演を聞いて子どもたちは、外国では日本とは違った生活習慣、そして考え方があつたということを実感し、それぞれ自分の中の視野が少し広がつたようです。





図書館だより



今月の新刊

○子ども向け

- ミヤマ物語 1巻 / あさのあつこ 著
- 翔太の夏 / 那須正幹 作、スカイエマ 絵
- ハリーポッターと死の秘宝 上・下 / J・K・ローリング 作、松岡佑子 訳
- これはぼくの宝物です / 山下奈美 作、小松良佳 絵
- 大人になる前に身につけてほしいこと / 板東眞理子 著
- 夢の彼方への旅 / エヴァ・イボットソン 著、三辺律子 訳
- ミラート年代記 第1巻 / ラルフ・イーザウ 作、酒寄進一 訳
- 挫折と挑戦 / 中竹竜二 作
- 走れ! 半ズボン隊 / ソラン・ドヴェンカー作、木本 栄 訳
- 3びきのこいぬ / マーガレット・G・オット 作、バーバラ・クーニー 絵
あんだのりこ 訳
- トム / トミー・デ・パオラ 作、福本友美子 訳
- 100かいだてのいえ / いわいとしお 作 ほか

○一般向け

- ひろみち&たいぞうの踊る大運動会 / 佐藤弘道、谷口國博 著
- ギョットちゃんの冒険 / 阿川佐和子 著
- 生き残るということ / 前田正浩、加藤 寛 著
- こんなことでよろしいか / 佐藤愛子 著
- 酔郷譚 / 倉橋由美子 著
- 地の日天の海 上・下 / 内田康夫 著
- ラブコメ今昔 / 有川 浩 著
- スカイ・イクリプス / 森 博嗣 著
- 遠ざかる家 / 片山恭一 著
- 銀の感覚 上・下 / ラルフ・イーザウ 作、酒寄進一 訳
- エア / ジェフ・ライマン 作、古沢嘉通、三角和代 訳
- 桜遍路 / 津村節子 著
- 時が滲む朝 / 楊 逸 著
- RDG(レッドデータガール) / 荻原規子 著
- 王妃マリアントワネット / 藤本ひとみ 著 ほか



利用案内

- 開館日 / 火曜日～日曜日
午前9時30分～午後6時
- 休館日 / 毎週月曜日(月曜日が祝日のときはその翌日も)
祝日・月末図書整理日・年末年始(12月29日から1月3日)・蔵書点検日

伊方町立図書館(伊方町生涯学習センター2階)
伊方町湊浦1992番地
TEL(0894)38-0607 FAX(0894)38-0617
瀬戸町民センター・三崎公民館にて図書の返却のみ可能。

9月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

■…休館日

＜お知らせ＞

9月9日(火)～9月19日(金)は図書整理期間のため、休館となります。

この期間に本・雑誌を返却される方は、生涯学習センター1階の返却ポストをご利用ください。

9月2日(火)～9月7日(日)に貸出したCD・DVDにつきましては、20日(土)に直接カウンターへお返しください。

ピップスおはなし会のご案内

9月のおはなし会は27日(土)の午後2時から30分程度

■対象：未就学児童および親子
小学校低学年児童

絵本の読み聞かせや紙芝居などをおはなしコーナーで行っています。

みんな、来てね!



見遊館より

穴ほりモグラを作りました!

9月20日(土)午後2時から、穴ほりモグラを作りました!

参加される方は当日時間までに受付にお越しください。

【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 見遊館 38-1020

映画上映会のご案内

9月13日(土)見遊館にて映画上映会を行います。室内が狭く、人数に限りがありますので早めにお越しください。

場 所 見遊館内 集会室

作 品 名 わんぱく王子の大蛇退治

上映時間 1回目 10:00~11:10
2回目 15:00~16:10

【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 見遊館 38-1020

伊方スポーツセンターより

メタボリック対策講座

※ スケジュール

- | | | |
|------|----------|------------|
| ○1日目 | メタボリックとは | 個人目標作り |
| ○2日目 | 効果的な運動 | 食事について |
| ○3日目 | 運動の実践 | 目標の修正 |
| ○4日目 | 運動の実践 | リバウンドを防ぐには |
| ○5日目 | 結果発表 | 閉講式 |

☆内 容

- いかに内臓脂肪を減少すれば良いか?どんな運動が効果があるのか?食事で気を付ける点は?といった疑問点を5回のコースで学習しながら生活習慣を改善していただくプログラムです。

開講日	9月11日 9月25日 10月9日 10月23日 11月6日
時 間	18:30~20:00
曜 日	木曜日
対象者	一般成人男女
会 場	会議室・トレーニングルーム等
定 員	20名
受講料	2,500円/1期(5回分)
持ち物	運動のできる服装・タオル



- 詳しいお問い合わせは、下記にご連絡ください。
伊方スポーツセンター ☎ 38-1100、☎ 38-0776

2008

愛媛県小学生相撲選手権大会

8月10日(日)愛媛県総合運動公園相撲場で、愛媛県小学生相撲選手権大会が開催されました。

伊方町からも7月27日(日)におこなわれた「子ども相撲伊方場所」において優秀な成績をおさめた5名の豆力士が出場しました。

会場の熱気、熱い声援の中、子どもたちは大人顔負けの激しいぶつかりあいで会場を大いに盛り上げました。

団体戦では2年ぶりの決勝トーナメント進出を果たしました。個人戦でも、伊方小学校2年の阿部階喜君が準優勝、同小3年の近藤俊一郎君が第3位と大活躍でした。



町見郷土館から

おまたせしました！
企画展「イシをつぐものⅡ
—瀬戸・三崎地域の中世石造物—」
9月13日(土)～11月30日(日)



今年は郷土館も五輪イヤー。瀬戸・三崎地域に点在する「ごりんさま(五輪塔)」などの古い石造物をご紹介します。
※ 開展準備のため9月10～12日は臨時休館といたします。

9月の「佐田岬の自然
スライド上映会」

9月24日(水)
18:30～20:30

ミニ講座「郷土の植物学者、野村義弘先生の業績」も開催
持ち込み写真も歓迎

入館無料

◆ 今月のきょうどかん ◆

TEL・FAX 39-0241
(不在の場合)
38-2661 生涯学習課
開館時間 9:30～16:30
休館 月ほか

2008年 9月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

■—おやすみ □—夜スライド上映
休館日は都合により、変更する場合があります。

佐田岬民俗ノート 40

岬灯台も幾歳月

佐田岬半島の象徴—佐田岬灯台。緑の小径の終点で海と空を貫いて建つ八角形の白亜の塔、その雄姿に感激した人も多いことでしょう。「日本の灯台50選」にも選ばれたこの灯台は、大正七年(一九一八)の初点灯から、今年で点灯九〇周年を迎えます。

この灯台にも平成五年(一九九三)までは、職員が勤務していました。正野の阿部富士男さん(昭和六年生まれ)は、海上保安庁職員として昭和二十七年から三六年まで佐田岬灯台(二八年から佐田岬航路標識事務所)に常駐勤務されていました。当時灯台の下には五棟の官舎(吏員退息所、現在撤去)があり、灯台長と職員四人、そのご家族の人々が暮らしていたそうです。



灯台での仕事は、まず毎日の日没日出に合わせた電源入切に始まり、気温・気圧・風向・風速・海の様子などの観測結果を毎日九時と一五時に電報で松山の気象台へ送るほか、一日四回分の気象観測データも月に一度、気象台と松山の第六管区海上保安本部へ送りました。

また、当時灯台沖の黄金瀬という岩礁にも灯柱があり、そこへ月二回の点検と、二カ月に一度ガス灯の燃料アセチレンガスの交換に渡る作業は、とても危険で大変だったようです(現在は灯台側から燈を照射)。さらに登録した船舶が海峡を通過した際に電報局を通じて船舶会社に通報したり、また観光で人々の訪問が増えると、その案内で一日何度も灯台を登り降りしたり、長閑なイメージとは裏腹に、とにかく忙しかったようです。台風時はとくに大変で、様子見に外へ出た同僚が山中に吹き飛ばされたり、夜通し窓ガラスを押さえていたこともあったといえます。もちろん家族の皆さんも、ふだんの買い物や学校の登下校、病院へ行く際などに日々苦労されたことは言うまでもありません。

多くの人々の不断の努力が受け継がれてこそ、九〇年間も海の安全が保たれ、今日の佐田岬灯台があるのですね。

取材協力

阿部富士男さん



大切な人権と笑顔

町見公民館長 矢野秋生

人は誰しも、自分に関わる人権問題が重要な課題であり、関心が高いのは当然です。

お互いにそのことを大切に学習や啓発を行うことが求められています。また、人権問題や教育・啓発の内容・手法等に関し多様な意見が存在していることにも十分配慮し人々から幅広い理解と共感を得られることも必要です。

これからの教育・啓発は、まちづくりや暮らしの課題を積極的に内容に取り入れたり、参加体験型の学習方法を取り入れたりするなど、より一層創意工夫を凝らすことが大切です。また、「人権感覚を育み、人権意識を高めるためにはどうすればよいか」など、すべての人々の人権に共通する内容とともに、人権問題を重要課題として取り上げることも大切です。その一環として、婦人学級・高齢者講座等を開設し人権に関わる問題の解決に資することが出来るよう、学習活動を推進しております。また、中学生交流学習会・ふるさとまつり等を通じて、笑顔あふれる人々

の人権問題に対する理解と認識を深めております。

人は相手を理解し、相手を思いやる優しい心が自然に笑顔になって表れます。

笑顔のあふれる明るい社会を築いていこうとする気持ちと行動が大切です。

あなたの家庭をはじめ、学校、職場など地域社会で「あられさせたい言葉」と「なくしたい言葉」にはどのようなものがありますか？

身近な生活の中の話題をもとに、人権について話し合ってみましょう。



教員免許更新制について現職の教員でない方へのお知らせ

教員免許更新制が平成21年4月1日からスタートします。教員免許状をお持ちの方であっても、現在、学校や幼稚園にお勤めになっていない場合は、免許状更新講習を受講していただかなくても、免許状は失効しません。

ただし、**満35歳、45歳、55歳で迎える**年度末(3月31日)までに、更新講習を修了しないと教壇に立つことができなくなります。将来、教員としてお勤めになる予定のある方で、**満35歳、45歳、55歳で迎える**年度末までに更新講習を修了されていない方は、教員としてお勤めになるまでに**30時間以上**の講習を受講する必要があります。

ただし、**昭和30年4月1日以前**にお生まれになった方には、この制度は適用されません。これまでどおり教員免許状は終生有効となります。

この更新講習は愛媛大学をはじめ全国の大学などで受講することができます。

なお、教員免許更新制の概要につきましては、愛媛県教育委員会事務局義務教育課のホームページでご確認になれます。

(<http://ehime-c.esnet.ed.jp/gimu/gimutop.html>)

免許更新制に関しまして、ご不明な点がございましたら、愛媛県教育委員会事務局義務教育課免許学事係(TEL 089-912-2941 FAX 089-934-8684)まで、お問い合わせください。

報 文 芸

伊方俳句会

幾重にも踊る人の輪盆の月
上田サチエ

森閑と蜚の露地裏日の盛り
渡辺日出子

丹精の南瓜は他所の食卓に
上田 幸香

雲の峰此岸睨んで仁王立ち
石井義夫

伺いのメール届けり蝉しぐれ
井上良枝

挽ぎたての胡瓜トマトの精気
山崎美喜

かな
夏祭り小町娘の美を競ふ
長野しずこ

余生とはこの身軽さよ夏帽子
門田千枝

紅葉葵朝日と共に今日一日
明神つた子

しずしずと七彩変化揚花火
池田君子

囀りの目覚める朝に感謝する
菊池ましえ

新樹風赤き落葉のつもる宮
篠川晴子

リハビリー長き廊下を青葉風
宇都宮睦子

肅肅とメーデーの列著我の花
上田益男

青岬汽笛鳴らしてフエリー行
松坂正子

く
山間ののどかな初夏の鳥の声
宇都宮法子

風鈴に姑の寝息の静なり
亀井成美

大花火流れ落ちゆく瀧となり
篠川勝子

特攻の知覧の基地にカンナ燃
二宮寿賀子

ゆ
伸ばす手に枝垂花火の届かざ
木戸悦子

瀬戸句会

七夕や流れる星を友と見る
小関秀次

老友と来てそーめん流し満喫す
吉上マツエ

段島やみかんの木陰に浜の風
佐々木忠雄

夏草や引きたる草に膝ついて
浅井ミドリ

雨に濡れ白白合並び立ちつくす
結城励子

ふる里の花火はかなく海に果つ
加藤慶子

サンキライ包むだんこの香り
佐々木サチ子

良き
朝の日に青あじさいが生き生きと
阿部榎太郎

あじさいと水着のモデル競いあい
本田光男

あ
世の荒廢怒るともなく夏至の雨
福岡 博

夏雲の白き流れは河のよう
八城征雄

蝉時雨にもリズムあり汗拭う
吉見福子

嫁ぐ孫真白きドレス風薫る
大星幸子

夏蜜柑剥けば段島高く見ゆ
佐々木 煦

母の日や微睡む母のあるがまま
佐々木禮子

サングラス似合いて嫁の摘花ぶり
井上幸子

「国民学校」と便りあり遠い夏
岡本 登

友の顔あれこれ浮かび明易し
英 二

三机句会

登り初む地階は涼し熊本城
大野律子

縮緬の白衣身に付け夏遍路
高地瑠美子

一湾の海色戻る梅雨の明け
中村愛坊

夏休みホームステイの異国の子
長谷美久仁

朝夕の農作業のなか蝉時雨
安田増子

小さき海老泳いでゐるなり番匠鼻
山本タカエ

一筋の雷名空に立ちあがる
菊岡三代子

あみだ句会

夕端居浜寄する波涼はこぶ
西上ミツヨ

今日も又好き日であれと日日草
阿部ヨシ子

潮満ちて戯れ遊びし夏遠く
菊池タツエ

熱帯夜時計見ること多きかな
中村千代香

夏季大会老いとは思えぬきびきびと
池上松子

蝉の声水のながれのごとしなり
高月 仁

老舗菓子店こだわり深き夏のれん
木原敬明

供花切りし夫一本の鬼百合も
塩崎信子

奉仕終る公園椿の実が光り
池上 馨

空蝉のいづれも力抜かずある
池井為吉